

平成 25 年度 第 1 回海岸工学委員会議事録

開催日時：平成 25 年 6 月 19 日（水）14:00～16:30

開催場所：土木学会 2F 講堂（東京都新宿区四谷 1 丁目 外濠公園内）

出席者：水口相談役，間瀬前委員長，佐藤新委員長，後藤前幹事長，佐々木新幹事長
青木，荒木，池谷，伊藤，太田，大山，岡田，岡安，小野，柿沼，五道，吉野（小林委員の代理），斎藤，猿渡，田島，丹治，津田，加藤（鳥居委員の代理），中泉，西田，原田（藤間委員の代理），松浦，松本，水谷，宮武，川崎（森委員の代理），守屋，山本の各委員
小笠原，北野，中川（栗山委員兼幹事の代理），重松，加藤（諏訪委員兼幹事の代理），高木，武若，松山，陸田，森屋，八木，山城，鯉渕（横木委員兼幹事の代理），渡部の各委員兼幹事

資料：

- ・平成 25 年度第 1 回海岸工学委員会の議事次第（資料 1）
- ・PowerPoint スライド（資料 2）
- ・第 49 回水工学に関する夏期研修会ポスター（資料 3）

議事前報告事項

1. 委員自己紹介

2. 他委員会への派遣委員（後藤前幹事長）

他委員会へ派遣される委員について以下の通り報告された。

土木学会論文集(B 部門)合同編集小委員会：

委員長：水谷委員

京大・原田准教授(編集幹事)（森委員から交代）

ISO 特別委員会委員：

港空研・下迫領域長

環境システム委員会リエゾン委員：

横木委員兼幹事（佐々木委員兼幹事から交代）

3. 第 59 回海岸工学講演会（陸田委員兼幹事）

第 59 回海岸工学講演会（広島）の報告が行われた。

4. 社会インフラ維持管理・更新 TF との懇談（佐藤委員）

土木学会では橋本会長の下で，維持管理に関する調査研究をスタートする。海岸工学委員会からも種々の事例を提示して，調査研究委員会で活発に取り上げてもらう旨の報告があった。

5. H24 活動度評価および H25 予算配分（後藤前幹事長）

平成 24 年度の活動評価は A ランクであり，平成 25 年度の予算配分が 1,202 千円となるこ

とが報告された。このランクには、情報発信数として、講演会への出席者数および出版物が反映される。海岸工学講演会の開催規模が現状維持されれば、活動評価としては A ランクが維持できるとの説明があった。

6. 水理公式集改定（間瀬前委員長・後藤前幹事長）

間瀬委員長を主査、後藤幹事長を統括補佐とした水理公式集の改定について、執筆者および編集スケジュールの紹介があった。

7. 土木学会誌・委員会紹介ページ（後藤前幹事長）

土木学会誌の海岸工学員会紹介ページへ、各小委員長からの活動報告等を取りまとめて記事を投稿したとの報告があった。

8. 土木学会 100 周年記念事業（間瀬前委員長）

10月6日に淡路島・福良漁港で、「津波・高潮の水位標識の設置」および「沿岸防災意識の普及促進」に関するイベントが開催されるとの報告があった。

審議・報告事項

1. 海岸工学委員会・委員長選挙細則の改正について（後藤前幹事長）

従来の細則に5項目目として、副委員長を置く場合の手続きを追加した委員長選挙細則の改正案が承認され、今年度の委員長選挙より運用されることが決定した。

2. 平成 25, 26 年度海岸工学委員会委員長選挙

委任者ならびに代理出席者を含む出席委員数が、委員定数の 2/3 の定足数に達していることを確認後、「土木学会海岸工学委員会委員長選挙細則」に則り、標記選挙が実施された。選挙結果は、以下に示す通りであった。

- ・予備投票選出者：佐藤委員，青木委員
- ・第2回投票選出者：佐藤委員

選挙の結果、第2回投票選出者である佐藤委員が平成 25, 26 年度本委員会委員長として推薦され、佐藤委員の承諾をもって決定された。

3. 副委員長，幹事長の指名，相談役の推挙（佐藤委員長）

副委員長，幹事長が以下のように指名された。

- ・副委員長：青木委員
- ・幹事長：佐々木委員兼幹事

灘岡元委員長が相談役に推挙され、承認された。

4. 第 60 回海岸工学講演会（海岸工学論文集第 60 巻）応募論文審査について（岡安小委員長）

- ・投稿論文数 403 編（昨年度 407 編）。

- ・査読者への査読割り当ては約 18～21 編／人.
- ・通常号からの発表希望はなかった.
- ・査読手順とスケジュールが紹介された (資料 2).
- ・第 1 段審査通過論文数は 303 編.
- ・評価点 18 点以上の論文が 266 編, 17 点の論文が 37 編, 採択率は約 75 %.
ただし, 評点 17 点の論文 53 編から昨年までの方針 (資料 2) に従って, 37 編を採択.
- ・投稿論文数, 分野別の投稿数および採択率の年次推移の説明があった.
- ・第二段階査読の評価配列の変更が紹介された.
- ・本原稿の執筆辞退が 4 件あり, これらの筆者には編集小委員長から厳重注意がなされた.
なお, 本原稿の執筆辞退への対応については, 今後継続的に議論していくこととなった.
- ・第 2 段審査論文数は 299 編 (303 編 - 4 編)
- ・「登載可」の論文数が 188 編, 「修正後に判定」の論文数が 109 編,
「返却」の論文数が 2 編, 合計論文数 (予定掲載編数) は 297 編.
- ・J-Stage 関連について, 原稿提出明細書 (M-整理番号.csv) の Web 入力化を検討中であるとの報告があった. 現状では M-整理番号.csv の提出となるが, 誤植が多いことから, コピーペーストを原則とし, CSV ファイル上での修正を行わないことの注意があった. 雑誌名の省略形の登録が必要と考えられるが, 具体的な対応は小委員会で検討することとした.
- ・国際セッションへの投稿数は 21 編, 内 20 編を採択とした.
- ・著者負担金と論文集価格について, 著者負担金は 35,000 円～40,000 円の範囲で検討. 論文集価格は 5,000 円.

5. 第 60 回海岸工学講演会 (福岡) の準備状況 (山城委員兼幹事)

準備状況及び見学会案等について (資料 2) に基づき報告がなされた.

- ・日程: 平成 25 年 11 月 13 (水) ~ 15 日 (金)
- ・会場: 九州大学医学部百年講堂・小講堂・同窓会館
- ・見学会: 11 月 12 日 (火), 博多港見学ツアー: (社) 博多港振興協会が実施
(通常 2 時間程度) 博多港国際ターミナル, アイランドシティ (人工島),
香椎パークポートコンテナターミナルなど
- ・前日シンポジウム: 11 月 12 日 (土), 九州大学医学部百年講堂
- ・懇親会: ホテルセントラーザ博多 花筐の間 予算 7,000 円 (予定)

6. 第 61 回海岸工学講演会 (名古屋) の準備状況 (水谷委員)

準備状況及び見学会案等について (資料 2) に基づき報告がなされた.

- ・日程: 平成 26 年 11 月 12 日 (水) ~ 14 日 (金)
- ・会場: ウィンクあいち (名古屋駅前 徒歩 5 分)
- ・見学会: A:名古屋港+飛島コンテナターミナル

B：藤前干潟＋輪中の郷＋長良川河口堰（＋なばなの里）

C:浜岡原子力発電所防波壁

見学会については，事務局の対応可能な範囲でコース数を検討する．

- ・懇親会：11月13日(木)，キャッスルプラザ

7. 第62回海岸工学講演会の開催（佐々木幹事長）

- ・第62回海岸工学講演会は関東地区で開催する方向で検討中である旨報告された．

8. Coastal Engineering Journalについての報告（水谷小委員長）

（資料2）に基づき以下の報告がなされた．

- ・ Vol.54, No.1, March, 2012, 12 編
- ・ Vol.54, No.2, June, 2012, 4 編
- ・ Vol.54, No.3, Sept., 2012, 4 編
- ・ Vol.54, No.4, Dec., 2012, 4 編
- ・ Vol.55, No.1, March, 2013, 3 編
- ・ CEJ Award について，Board メンバーの投票による第1位の以下の論文が受賞論文として提案され承認された．

Nonlinear Effects In Gravity Waves Propagating In Shallow Water By Yasser Eldeberky

- ・ JAMSTEC 中西賞については，国内の研究者によって昨年度 CEJ に投稿・掲載された論文の中から，Board メンバーの投票で第1位となった以下の論文が受賞論文として提案され承認された．

Propagation And Inundation Characteristics of The 2011 Tohoku Tsunami on The Central Sanriku Coast By Takenori Shimozono, Shinji Sato, Akio Okayasu, Yoshimistu Tajima, Hermann M. Fritz, Haijiang Liu, Tomohiro Takagawa

9. 研究小委員会等の活動報告

広報小委員会（川崎副小委員長 森小委員長の代理）

- ・（資料2）に基づき，Web 情報およびアウトリーチの充実に関する活動内容の報告があった．

数値波動小委員会（岡安小委員長）

- ・（資料2）に基づき，第一期，第二期を含めたこれまでの活動内容とその成果の報告があった．成果のフィードバックの方法は検討中であるが，小委員会は昨年度で閉じることとした．

地球温暖化適応対策検討小委員会

- ・横木小委員長からの事前連絡により，特に報告事項はないこと，および小委員会は昨年

度で閉じることとしたことが報告された。

沿岸域研究連携推進小委員会（重松小委員長）

- ・報告事項は特になし。

地震・津波複合災害の推定手法および対策研究小委員会（原田委員 藤間副小委員長の代理）

・（資料 2）に基づき活動概要および 2012 年の活動状況の報告があった。小委員会の活動は 2015 年まで延長。今年度の海岸工学講演会の前日シンポジウムの企画を検討。

10. 2013 年度（第 49 回）水工学に関する夏期研修会について（北野委員兼幹事）

- ・水工学に関する夏期研修会の開催について、（資料 2）（資料 4）に基づき報告があった。
- ・2013 年 8 月 26 日(月), 27 日(火) に、名古屋工業大学で開催。
- ・2014 年度の水工学に関する夏期研修会の開催に関しては、水理委員会からの連絡待ち。

11. 国際会議の開催案内

本委員会が関与する国際会議として、APAC2013 が 2013 年 9 月 24 日～26 日に、インドネシア・バリ島で開催されることが案内された。

次回の海岸工学委員会は、海講開催中の 11 月 13 日（水）18 時より

記録：斎藤